

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年7月19日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人北海道江差観光みらい機構	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	北海道檜山郡江差町	
所在地	北海道檜山郡江差町姥神町 1-10	
設立時期	平成30年10月17日（平成31年4月1日から事業開始）	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	9人【常勤9人（正職員9人）】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 照井 誉之介 （出身組織名） 江差町（町長）	江差町観光まちづくり協議会の会長を務める。江差町長でもあることから、町内外に幅広い人脈があり、また強いリーダーシップを発揮し、様々な取り組みで成果を上げる。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 澤田 博生「専従」 （出身組織名） 江差町役場	江差町役場からの派遣職員として就任。役場の観光部門や財政（財産管理）部門等の業務歴任しており、観光に関連する分野への見識を持つ。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 澤田 博生「専従」 （出身組織名） 江差町役場	江差町役場からの派遣職員として就任。役場の観光部門や財政（財産管理）部門等の業務歴任しており、財務（特に財産管理）に見識を持つ。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 澤田 博生「専従」 （出身組織名） 江差町役場	江差町役場からの派遣職員として就任。役場の観光担当時にプロモーション等の経験を持つ。

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江差町追分観光課：DMO の取組に係る相談窓口、観光プロモーション等</li> <li>・江差町まちづくり推進課：全般的なまちづくりの方向性に係る連携</li> <li>・江差町産業振興課：産業界との連携</li> <li>・江差町社会教育課：郷土芸能や文化財の活用に係る連携</li> <li>・北海道檜山振興局商工観光労働課：檜山地域の広域観光振興に係る連携</li> </ul>
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光プロモーション：江差観光コンベンション協会、函館バス、ハートランドフェリー、町内宿泊施設、飲食物販施設、観光施設、江差町役場</li> <li>・体験観光メニュー開発：ガイド協会、町内各種団体、江差町役場</li> <li>・商工業者との連携推進：江差商工会、江差町役場</li> <li>・地域効果研究：北海道教育大学函館校</li> <li>・イベント開催：開陽丸青少年センター、江差町役場</li> <li>・DMO 連携および調査や誘客に関わる事業推進：北海道観光振興機構</li> </ul>
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】②</p> <p>町内の観光関連機関および町内事業者や有識者等と共に、DMO の円滑な事業推進を図ることを目的として組織された「江差町観光まちづくり協議会」において、DMO は会の運営を主導し、DMO が行なう取り組みに関する連絡調整を行っている。</p> <div data-bbox="432 1149 1401 1816"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>江差町観光まちづくり協議会</b></p> <p>協議会事務局 北海道江差観光みらい機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江差観光コンベンション協会</li> <li>江差商工会</li> <li>ひやま漁協 江差支所</li> <li>新函館農協 江差支店</li> <li>江差建設協会</li> <li>江差町民芸団体連絡協議会</li> <li>江差町歴まち商店街協同組合</li> <li>江差町地域活性化協力隊</li> <li>江差町町内会連合会</li> <li>開陽丸青少年センター</li> <li>江差追分会</li> <li>江差観光ガイド協会</li> <li>ハートランドフェリー</li> <li>[事務局] 北海道江差観光みらい機構</li> <li>[事務局] 江差町役場 (町長, 副町長, 教育長, 追分観光課)</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>オプザーバー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北洋銀行 江差支店</li> <li>道南うみ街信金 本店</li> <li>檜山振興局 (地域政策課)</li> <li>(商工労働観光課)</li> <li>(教育支援課)</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>北海道江差観光みらい機構</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池ノ上真一 教授 (北海道大学 商学部 観光産業学科)</li> </ul> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●DMOの重要な方針策定や企画立案についての諮問</li> <li>●企画実現への協力要請</li> <li>●諮問を受けての助言・提言</li> <li>●ワークショップ実施でアイデアの肉付け</li> <li>●企画実現への各種協力対応</li> </ul> </div> </div>
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 当機構の活動報告やイベント告知等を、江差町の月刊広報誌に掲載する。</li> <li>② 体験観光メニューの開発にあたり、プレイヤー役を地域住民から募る。</li> <li>③ 個別の店舗や施設が、江差町観光ポータルサイトを通じて自ら情報発信するシステムを構築し、随時情報発信の指導を行なう。</li> </ol>

法人のこれまでの活動実績	<p><b>【活動の概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等を活用した情報発信, ワンストップ窓口構築事業</li> <li>江差町観光情報ポータルサイトを開設。管理運営を担当。</li> <li>江差町観光情報ポータルサイト英語版ページ作成</li> <li>お客様相談フォーム設置</li> <li>観光イベント情報連携表示システム構築</li> <li>緊急情報連携システム構築</li> <li>飲食店テイクアウト情報発信サイト構築</li> <li>・その他事業</li> <li>姥神大神宮渡御祭の山車ロケーションマップの開発運営</li> <li>グーグルストリートビューへ町内施設を登録</li> <li>台湾最大手 OTA と契約。2 プログラムを販売</li> <li>台湾旅行博に参加（檜山振興局・木古内町と連携）</li> <li>日本財団「海と日本 PROJECT」に参画し、テレビアニメ「サザエさん」オープニングで江差町が紹介されるなど、全国に情報発信</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>受入環境の整備</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所運営事業</li> <li>R1 年度に江差町観光情報総合案内所を日本政府観光局（JNTO）の外国人観光案内所カテゴリー 1 に登録</li> <li>・旅行商品造成販売事業</li> <li>R1 年度に当機構を第 3 種旅行業に登録</li> <li>R3 年度に着地型旅行商品の造成, 販売実施</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>観光資源の磨き上げ</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江差の自然生態環境や日本遺産を活用するかもめ島マリニングプロジェクト</li> <li>R3 年度から景勝地であり、日本遺産のシンボリック存在であるかもめ島をグランピング&amp;キャンプ用品レンタル&amp;海洋体験プログラムといったサービス提供を開始</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table> <p><b>【定量的な評価】</b></p> <p>○江差町観光入込客数</p> <p>平成 30 年度（当機構事業開始前）285.6 千人</p> <p>令和元年度（4 月～当機構事業開始）324.4 千人</p> <p>令和 2 年度 72.5 千人</p> <p>令和 3 年度 71.4 千人</p> <p>令和 4 年度 112.2 千人</p> <p>令和 5 年度 249.5 千人</p> <p>○江差町観光情報ポータルサイトアクセス数（当機構運営）</p> <p>令和元年度 317 千ページビュー</p> <p>令和 2 年度 298 千ページビュー</p> <p>令和 3 年度 387 千ページビュー</p> <p>令和 4 年度 551 千ページビュー</p>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等を活用した情報発信, ワンストップ窓口構築事業</li> <li>江差町観光情報ポータルサイトを開設。管理運営を担当。</li> <li>江差町観光情報ポータルサイト英語版ページ作成</li> <li>お客様相談フォーム設置</li> <li>観光イベント情報連携表示システム構築</li> <li>緊急情報連携システム構築</li> <li>飲食店テイクアウト情報発信サイト構築</li> <li>・その他事業</li> <li>姥神大神宮渡御祭の山車ロケーションマップの開発運営</li> <li>グーグルストリートビューへ町内施設を登録</li> <li>台湾最大手 OTA と契約。2 プログラムを販売</li> <li>台湾旅行博に参加（檜山振興局・木古内町と連携）</li> <li>日本財団「海と日本 PROJECT」に参画し、テレビアニメ「サザエさん」オープニングで江差町が紹介されるなど、全国に情報発信</li> </ul>	受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所運営事業</li> <li>R1 年度に江差町観光情報総合案内所を日本政府観光局（JNTO）の外国人観光案内所カテゴリー 1 に登録</li> <li>・旅行商品造成販売事業</li> <li>R1 年度に当機構を第 3 種旅行業に登録</li> <li>R3 年度に着地型旅行商品の造成, 販売実施</li> </ul>	観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江差の自然生態環境や日本遺産を活用するかもめ島マリニングプロジェクト</li> <li>R3 年度から景勝地であり、日本遺産のシンボリック存在であるかもめ島をグランピング&amp;キャンプ用品レンタル&amp;海洋体験プログラムといったサービス提供を開始</li> </ul>
事業	実施概要								
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等を活用した情報発信, ワンストップ窓口構築事業</li> <li>江差町観光情報ポータルサイトを開設。管理運営を担当。</li> <li>江差町観光情報ポータルサイト英語版ページ作成</li> <li>お客様相談フォーム設置</li> <li>観光イベント情報連携表示システム構築</li> <li>緊急情報連携システム構築</li> <li>飲食店テイクアウト情報発信サイト構築</li> <li>・その他事業</li> <li>姥神大神宮渡御祭の山車ロケーションマップの開発運営</li> <li>グーグルストリートビューへ町内施設を登録</li> <li>台湾最大手 OTA と契約。2 プログラムを販売</li> <li>台湾旅行博に参加（檜山振興局・木古内町と連携）</li> <li>日本財団「海と日本 PROJECT」に参画し、テレビアニメ「サザエさん」オープニングで江差町が紹介されるなど、全国に情報発信</li> </ul>								
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所運営事業</li> <li>R1 年度に江差町観光情報総合案内所を日本政府観光局（JNTO）の外国人観光案内所カテゴリー 1 に登録</li> <li>・旅行商品造成販売事業</li> <li>R1 年度に当機構を第 3 種旅行業に登録</li> <li>R3 年度に着地型旅行商品の造成, 販売実施</li> </ul>								
観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江差の自然生態環境や日本遺産を活用するかもめ島マリニングプロジェクト</li> <li>R3 年度から景勝地であり、日本遺産のシンボリック存在であるかもめ島をグランピング&amp;キャンプ用品レンタル&amp;海洋体験プログラムといったサービス提供を開始</li> </ul>								

	<p>令和 5 年度 560 千ページビュー</p> <p>○アンテナショップぷらっと江差 売上高 (DMO 運営)</p> <p>平成 30 年度 (当機構事業開始前) 23,599 千円</p> <p>令和元年度 (4 月～当機構運営引継) 27,540 千円</p> <p>令和 2 年度 17,026 千円</p> <p>令和 3 年度 20,327 千円</p> <p>令和 4 年度 26,076 千円</p> <p>令和 5 年度 24,504 千円</p> <p>※売上高は、委託販売品の取扱高を販売額に換算</p>
<p><b>実施体制</b></p> <p>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること (別添可)。</p>	<p><b>【実施体制の概要】</b></p> <p>一般社団法人北海道江差観光みらい機構が取組推進の実施主体となり、行政や関係団体等との連携のもと、町内が一体となった事業を推進する。</p> <p><b>【実施体制図】</b></p> <p>江差町役場 (観光施策立案) (各種予算措置) (国、道、他自治体との連携) ・道分観光課 ・産業振興課 ・まちづくり推進課 ・社会教育課 等</p> <p>行政機関 ・近隣自治体 ・桧山振興局 ・北海道庁 ・北海道運輸局 等</p> <p>観光機関 ・北海道観光振興機構 ・シーニックパライウェイルート 等</p> <p>教育機関 ・北海道教育大学函館校 等</p> <p>北海道江差観光みらい機構 (代表理事 照井善之介)</p> <p>情報発信 (観光ポータルサイト運営, 観光プロモ準備)</p> <p>体験観光 (体験メニュー構築, 着地型旅行商品開発)</p> <p>販売店運営 (商品開発支援, 販路拡大)</p> <p>その他 (観光案内所運営, ランドオペレーター機能, 新規観光スタイル定着化支援等)</p> <p>江差町観光まちづくり協議会 (会長 照井善之介) &lt;DMOの重要な方針策定に関する提言・アイディア深耕ワークショップ&gt;</p> <p>商工業 旅行業 宿泊業 運輸業 農業 漁業 建設業 金融業 伝統芸能 町内会 行政</p> <p>【事務局】 江差町役場道分観光課・北海道江差観光みらい機構</p> <p>江差観光コンベンション協会 (イベント運営) (観光プロモ実施)</p> <p>江差追分会</p> <p>観光関連施設 ・開陽丸 ・江差追分会館 ・道の駅えさし ・いにしえ街道 (歴まち組合) ・旧中村家住宅 ・旧桧山爾志郡役所 等</p> <p>各種事業者 (観光ポータルサイトの個別ページ編集) ・宿泊業 ・飲食業 ・製造業 ・農漁業 ・物販業 ・交通業 ・観光関連業</p> <p>観光客・関係人口 旅行業界・報道出版業界</p>

## 2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

## 【区域の範囲が分かる図表を挿入】



## 【区域設定の考え方】

地域 DMO として、北海道檜山郡江差町の全域を対象とする。

## 【観光客の実態等】

江差町の観光入込客数は、平成 2 年度の 806 千人をピークに現在まで減少を続けている上、月間の入込客数は 4～9 月が全体の 90% 超、日帰客が全体の 90% 超を占めているように、春夏期に偏重する典型的な通過型の観光形態が課題と言える。

主な理由は、現在の江差町の主な観光資源が、かもめ島や開陽丸、歴史的な町並みなど日本遺産でもある文化遺産である。しかしこれらは、国内外での知名度が高くなく、江差の魅力を強く印象付けるストーリーやブランドが不明瞭であることが挙げられる。

この現状に対して、着地型・滞在型の観光地づくりを目指すため、DMO は、町内関係団体等と連携して情報収集することによる観光情報の発信（江差町観光情報ポータルサイト）、体験メニューづくり、江差製品の販売拡大や新商品の開発および開発支援、親子連れのレジャー需要等の新規顧客層の開拓（かもめ島マリリンピック）等を行ってきた。

## 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

檜山地方の中心に位置する江差町は、古くからニシン漁やヒノキアスナロなどの交易港として栄え、北前船交易の時代には「江差の五月は江戸にもない」と言われるほど繁栄を極めた。この流れをくむ文化遺産が現在も受け継がれ、多くは平成 29 年 4 月には日本遺産に認定されている。

分野	名称	内容
歴史文化	江差追分	北前船の船乗りにより伝わった民謡。
	日本遺産	北前船によるニシン交易が育んだ歴史文化が、北海道第一号の日本遺産として認定された。
	姥神大神宮	ニシン漁のルーツとなる伝説が残る。北海道内最古の祭り「姥神大神宮渡御祭」の舞台となる。
	旧檜山爾志郡役所	明治中期の洋風建築。郷土資料館として公開中。
観光施設	旧中村家住宅	北前船交易で繁栄した商家。国指定重要文化財
	横山家	江戸中期から続く廻船問屋。（現在休館中）
	江差追分会館・山車会館	江差追分の生演奏を鑑賞できる他、姥神大神宮渡御祭の壮麗な山車 2 台を常時展示。
	開陽丸記念館	戊辰戦争の最中、江差沖で座礁沈没した開陽丸を復元し、海中から引き揚げた大砲等を展示。

	いにしえ街道	かつて北前船交易で栄えた頃の街並みを再現した1km程のストリート。
	道の駅江差	日本一小さい道の駅。
商業施設	ぷらっと江差	江差町の土産品や農水産物を販売。開陽丸内。
自然	かもめ島	日本遺産の文化財が点在する陸続きの島。日本の夕陽百選に選定。道立自然公園。
イベント	江差かもめ島まつり	海の男たちが禪姿で大しめ縄を掛け替える雄姿が圧巻。例年7月第1週末開催
	姥神大神宮渡御祭	北海道最古とされる祭礼。13台の山車が3日間町内を巡り、期間中は大いに盛り上がる。例年8月9～11日開催
	江差追分全国大会	全国から選り抜かれた唄い手が江差に集まり、3日間かけて日本一を競う大会。例年9月第3週末開催
	冬江差”美味百彩”なべまつり	くじら汁やニシン三平汁など、郷土に根付いた様々な鍋料理を味わえるイベント。例年2月第1週末開催
	かもめ島マリニング～海と日本 PROJECT～	景勝地であるかもめ島を舞台に、グランピング泊やキャンプ用品レンタル、海洋体験メニュー等を春～秋に常時提供サービスとして実施するイベント。
特産品	海産物	季節によって様々な漁獲がある。春はニシン、サクラマス、ホッケ。夏は紅ズワイガニ、ウニ、スルメイカ。秋はサケ。冬はヤリイカ、寒海苔など。

#### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

エリア	施設数	収容人数
中心部	ホテル 2、旅館 4、簡易宿所 4	ホテル 85、旅館 121、簡易宿所 97
合計	10 軒	303 人

#### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

##### ■区域までの交通

- ・自動車 新幹線駅（木古内駅、新函館北斗駅）からは約1時間。
- ・路線バス 新幹線駅（木古内駅、新函館北斗駅）からは約1時間30分。  
函館市内からは約2時間30分。（函館駅～江差間は1系統5便運行）

##### ■域内交通

- ・自動車
- ・路線バス 函館バスが複数系統で運行。（下記「交通環境の変化」項に関連記載あり）

##### ■交通環境の変化

- ・高規格道路 令和4年3月に函館江差道が茂辺地ICから木古内ICまで延伸済み。  
木古内IC-江差間の着工予定は立っていない。
- ・北海道新幹線 令和12年度以降に新函館北斗駅から札幌駅まで延伸予定。
- ・路線バス 令和3年9月に八雲駅-八雲町熊石地区間を結ぶ八雲熊石線が廃止、令和6年3月に江差町-厚沢部町間を結ぶ館線、稲見線が廃止されるなど、常時運行する地域の公共交通網は縮小傾向にある。

#### 【外国人観光客への対応】



- ・平成 27 年度：江差町が、町内各所に無料 Wi-Fi を設置。
- ・平成 30 年度：江差町が、江差町内に点在する観光看板を日英併記に更新。
- ・令和元年度：当機構が運営する江差町観光情報総合案内所が JNTO(日本政府観光局)の外国人観光案内所カテゴリー1に認定。外国人観光客への案内サービスを提供中。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額(単価)	KPI 達成、消費額拡大を目指すため。	DMO がアンケート調査を自主事業として実施。
来訪者満足度	KPI 達成、満足度の向上を目指すため。	DMO がアンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	KPI 達成、リピーター率の増加を目指すため。	DMO がアンケート調査を自主事業として実施。
延べ宿泊客数	KPI 達成、宿泊者数の増加を目指すため。	江差町がアンケート調査を実施。
江差町観光情報ポータルサイトアクセス数	アクセス数の向上によって、江差町に興味を持つ潜在客層の拡大を目指すため。	DMO が江差町からの受託事業の一環として調査を実施。
観光関連事業所の域内調達率	KPI 達成、観光振興による経済効果の波及拡大を目指すため。	江差町観光まちづくり協議会が大学等と連携し、アンケート調査を実施。

### 4. 戦略

#### (1) 地域における観光を取り巻く背景

江差町を訪れる観光客数は過去 30 年間一貫して減少を続けている上、滞在時間が短い春夏通過型の観光スタイルが大部分を占めている。さらに地域は、人口減少や高齢化も進んでいる。また、基幹産業である漁業はイカ漁などの不振により漁獲高は減少傾向である。

一方で、江差追分や姥神大神宮渡御祭には全国に愛好家があり、毎年来町するなど、江差町との根強い関係人口が存在する。

こうした地域の現状や課題に対し、観光地域づくり法人(DMO)を中心に、既にある江差町の魅力を掘り起こして情報発信すると共に、体験メニューの開発やプレイヤーの発掘による磨き直しを行なうことで、滞在時間と消費額の拡大につなげ、観光を切り口とした地域経済への波及効果を高めることを活動目的とする。

#### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国各地、海外に支部を持つ江差追分の中心地であること</li> <li>●北海道最古とされるお祭り(姥神大神宮渡御祭)</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●少子高齢化の進行</li> <li>●若年層の人口流出</li> <li>●空き家の増加</li> <li>●冬の強風</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北前船で栄えた頃の町並みを再生したいにしえ街道</li> <li>●多く残る伝統的な建造物</li> <li>●独特な自然景観のかもめ島</li> <li>●奥尻島行きのフェリーターミナルがある</li> <li>●北前船交易のイメージからニシン料理の知名度が高い</li> <li>●北海道内では比較的雪が少なく温暖</li> <li>●幕末体験ができる開陽丸復元施設</li> <li>●日本遺産認定</li> <li>●最も美しい村連合加盟</li> <li>●日本の夕陽百選に選定</li> <li>●近年のニシンの漁獲増加(群来の再来)</li> <li>●主要な観光施設が徒歩圏内にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬場の観光客減</li> <li>●二次交通網が脆弱(鉄道無し。函館から路線バスで2.5時間→所要時間が自家用車の1.7倍)</li> <li>●大型の宿泊施設が無い</li> <li>●観光客がお金と時間を使う仕組みが不足(通過型観光の傾向が強い)</li> <li>●観光施設の老朽化</li> <li>●水産業の不振(特にイカ)</li> <li>●不定休、または日曜定休の店舗が多い</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●団体旅行から個人旅行へ移行</li> <li>●北海道新幹線の開業、札幌延伸</li> <li>●函館・江差自動車道が木古内まで延伸</li> <li>●函館市がクルーズ船誘致を強化</li> <li>●リノベーションされた古民家のブーム</li> <li>●地域特有の歴史文化が特にインバウンド客からユニークベニューとして評価</li> <li>●キャンプ等のアウトドア分野が活況</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国的な少子高齢化の進行</li> <li>●観光地間の競争激化</li> <li>●函館圏で大型宿泊施設の増加による、日帰り観光客の増加と、観光消費額の減少。</li> <li>●北海道新幹線の札幌延伸(令和12年度以降予定)による通過客の増加</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入(様式自由)。

### (3) ターゲット

#### ○第1ターゲット層

かもめ島を中心とする、江差町の歴史文化の舞台でもある自然に興味を持つ親子連れ

#### ○選定の理由

江差町には、中心街や観光施設が集中するエリアから徒歩圏内に、檜山道立自然公園に含まれる「かもめ島」がある。かもめ島では、日本の夕陽百選にも選定される程の自然景観を眺望できる上に、日本遺産や北前船交易といった歴史文化の舞台でもあり、幕末浪漫を楽しめる開陽丸記念館にも隣接している。

このかもめ島は、夏場は海水浴客で賑わい、年間を通して釣り客が訪れる他、島の上が町営の無料キャンプ場となっており、さらに令和3年8月からは海洋体験メニュー&グランピング泊&キャンプ用品レンタルのサービスである「かもめ島マリニング～海と日本PROJECT～」が開始されるなど、アウトドア環境を楽しむ場所にもなっている。

一方、江差町では、平成30年～令和元年度の2年間、観光入込客数に対して宿泊客数の割合が5.5%と低く、函館市の61.8%と比べ大きな差があり、宿泊客数の増加が課題となっている。コロナ禍による影響が長期化する中、密にならない屋外で過ごすことや、キャンプ等のアウトドア体験に注目が集まっていることから、かもめ島は観光コンテンツを提供する場として有望と捉えられる。

また、江差町が策定した「”古くて新しいまち江差”観光戦略書(平成28年度)」、「DMO運営におけるコンテンツ・マネジメントシステム構築等業務報告書(平成29年度)」では、かもめ島及び開陽丸等の周辺施設を重点拠点化すると謳っている他、江差町の地域特性から不特定多数の観



光客ではなく、リピーターやファン等の関係人口を重点的なターゲットとすることで地域ブランディングから始めることを戦略として掲げている。

さらに、江差町では観光による地域経済波及効果の拡大を目指しており、その根拠データを得るために実施した地域経済波及効果調査の成果から、町内の食に関する一次・二次産業との連携が効果的であることが見出された。また、DMO が令和 2 年度に実施した江差町来訪者に対する観光客アンケート調査では、江差町の自然景観に関する満足度（7 段階中、上位 2 項目の合計）が 82.5%と、平均の 74.5%を上回っていたことから、これまで江差観光の中心と見做されてきた歴史文化に関する観光施設だけでなく、自然環境が有力な観光コンテンツとして期待できる。

そこで、かもめ島を中心とする、江差町の歴史文化の舞台でもある自然環境において、キャンプや釣り等のアウトドア体験に関心を持つ親子連れを第 1 ターゲット層とする。特に、函館市等の道南エリアに居住する若い親子連れを想定客層として捉え、泊りがけでキャンプ等のアウトドア体験や歴史文化体験を楽しむ場として、自動車が入り込まず安全に遊べて、かつ中心街に近く便利な立地のかもめ島を観光スポットとして提案する。

#### ○取組方針

江差町ならではの自然や歴史が楽しめるかもめ島において、主に道南エリアの若い親子連れ層に対して、ただ景観や史跡の見物ではなく、海洋体験やキャンプ等のアウトドアコンテンツを春～秋にかけて常設化してサービス提供することにより、滞在時間と観光消費の最大化と共に、地域の魅力への関心拡大を目指す。

#### ○第 2 ターゲット層

北前船交易により培われた江差独特の歴史文化に興味のある日本国内の中高年層、および歴史文化の学習や体験を目的とする教育旅行の利用者層。

#### ○選定の理由

DMO が令和 2 年度に実施した、江差町来訪者に対する観光客アンケート調査では、来訪者の 95%が江差町の歴史文化に関連する観光スポットを訪れており、観光客の大部分は江差町の歴史文化に関心を持っていることが分かる。さらに、江差町の歴史文化の内、中心的なコンテンツである「江差追分会館・山車会館」を訪れる観光客の内、75.0%が 50 歳代以上の中高年層となっている他、北前船交易を表す歴史的建造物である「旧中村家住宅」では、79.5%が同様の中高年層である。

また、例年春・秋には、中高生のグループが開陽丸やいにしえ街道等を見学している姿が頻繁に見受けられることから、江差町の歴史文化を学ぶための教育旅行ニーズが存在することが分かる。

さらに、江差町では、「江差追分全国大会」や「姥神大神宮渡御祭」、「開陽丸」などによる、いわゆる「関係人口」と呼ばれる、観光客以上に江差町との接点が高い全国規模の交流が存在する。

その上、北海道指定の無形民俗文化財は全 10 件の内、6 件が江差町に存在する他、「江差の五月は江戸にもないニシンの繁栄が息づく町ー」というストーリーが北海道内で初めて日本遺産に認定されるなど、価値が広く認識された歴史や文化が江差町に存在する。

日本遺産については、同じ道南エリアに位置する函館市や松前町においても北前船に由来して日本遺産に認定されており、全国的に著名な観光地である函館市に来訪する観光客が日本遺産を巡り、松前町や江差町へ周遊することも考えられる。

よって、これらの歴史や文化を観光資源として捉え、歴史文化に興味を持つ人々を第 2 ターゲット層とする。

#### ○取組方針

江差町の特色ある歴史や文化に興味を持つ旅行客が、ただ単純に見て楽しむだけでなく、自ら体験して、さらに地域住民と交流を深めるコンテンツを満喫してもらうことにより、旅行客を関係人口にまで昇華させることを目指す。

#### ○第3ターゲット層

地域の自然と文化を体験することを好む、道南やニセコエリアを複数回訪問済みのインバウンドを中心としたユニバーサルツーリズムの対象者層

#### ○選定の理由

江差町には、上記の第1および第2ターゲット層の選定理由で触れた通り、独自性の高い歴史文化や自然環境がコンパクトな範囲に集中している。北海道の有名観光地を一通り訪れたインバウンド層は、特に函館・大沼やニセコエリアを複数回訪れた後は、その周辺エリアに足を延ばすことが見込まれる。

しかし、平成30年度～令和元年度にかけて、江差町内における宿泊客数に占める外国人宿泊客数は1.0%であり、函館市の15.5%に比べて向上の余地がある。

そこで、独自性の高いローカルな歴史文化体験とアウトドアコンテンツがある江差町に興味を持つと想定されるインバウンドを第3ターゲット層の中心とする。

また、これまで江差町ではインバウンド向けの観光案内看板等の英語化やWi-Fi整備等が進められてきたが、江差町を含む檜山地方では並行して、高齢者や障がいを持つ方々が快適に旅を楽しむための施設整備やバリアフリー情報の発信等を行ってきた。このことから、インバウンドを含めた広義のバリアフリー観光を推進する。

#### ○取組方針

いにしえ街道の着物体験や追分体験などの歴史文化体験とかもめ島を中心とするアウトドア体験とを組み合わせ、それらがコンパクトにつながる手軽なローカル体験を提供する。

### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	ニシンが形づくったカモメの港町 北海道江差町
②コンセプトの考え方	北海道の南西部に位置する江差町には、かつて北海道沿岸を賑わせたニシン漁をはじめとした北前船交易により繁栄した港町を中心とした歴史文化が至るところに息づいている。 町のシンボルである“かもめ島”は、天然の防波堤となり、ニシンの豊漁、北前船の往来を助ける大切な役割を果たした。 町を訪れる人々は、食や民謡をはじめ、町を形作る有形・無形のニシン漁に由来する様々なコンテンツに触れることにより、いにしえの空間へ誘われる。

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
----	----

戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	毎年開催される江差町観光まちづくり協議会等の場を通じて、地域の関係者と情報共有、戦略に関する議論等を行う。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	DMO が実施する観光客アンケート調査やマリニング事業等）から得られる反響を、江差町観光まちづくり協議会等の場で報告して議論することにより、サービス強化や改善につなげる。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	行政機関、観光協会、各種事業者等と連携して、DMO が受託運営する江差町観光情報ポータルサイトから一元的に観光情報を発信すると共に、その情報を基にした観光プロモーションを各機関と連携して実施する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### （1）必須K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (円/人)	目標	6,724 (-)	7,851 (-)	8,000 (-)	8,000 (-)	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	5,098 (-)	3,603 (-)	4,548 (-)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	24.0 (0.01)	24.7 (0.05)	25.4 (0.10)	26 (0.10)	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	14.9 (0.096)	19.9 (0.056)	19.2 (0.16)			
●来訪者満足度 (%)	目標	74.5 (-)	76.5 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	77.1 (-)	78.0 (-)	77.9 (-)			
●リピーター率 (%)	目標	48.0 (-)	54.0 (-)	60.8 (-)	60.8 (-)	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	47.7 (-)	36.6 (-)	41.7 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

## 【検討の経緯】

江差町が令和 2 年 4 月に策定した江差町第 6 次総合計画(令和 2 年度～11 年度)、および DMO が実施した観光客アンケート調査(令和 2 年度)を元に、DMO 並びに観光地域づくり連携事業者と協議して目標数値を設定した。

## 【設定にあたっての考え方】

## ●旅行消費単価

DMO 実施の観光客アンケート調査(令和 2 年度)において、宿泊客・日帰り客を問わず、交通費・宿泊費・飲食費・買い物費・その他(入場料など)の合計から平均額を基準値として設定した。令和 4 年度から本格稼働するマリニピング事業で想定する宿泊増加分を加味すると、令和 4 年度の旅行消費額は 7,851 円となる。マリニピング事業の現状の規模ではこれ以上の宿泊数拡大は難しいが、マリニピング来訪者増加による好影響を考慮して、令和 5 年度には 8,000 円を目標とする。

## ●延べ宿泊者数

江差町の第 6 次総合計画において、宿泊客延べ数の KPI が R6 年度 26 千人であるため、本 KPI を総合計画と共通の目標として設定した。

## ●来訪者満足度

DMO 実施の観光客アンケート調査(令和 2 年度)において、満足度の 7 段階評価の内、上位 2 項目(とても満足した、満足した)の選択率を基準値として設定とした。目標とする数値は、北海道が 2019 年度に実施した北海道来訪者満足度調査において、道外客と道外客の満足度評価の平均値が 80.0%であったため、北海道全体の平均値に到達することを目指す。(近隣の函館市による調査も参考にあり得るが、評価方式が点数式で比較できないため、北海道の調査を選択した。)

## ●リピーター率

DMO において令和 2 年度より観光客アンケート調査を実施しており、江差町への来訪者の内、来訪回数が 2 回目以上の来訪者の比率をリピーター率の基準値として設定した。目標とする数値は、江差町から最寄りの主要観光地である函館市が、2019 年度に実施した函館市観光動向調査において、リピーター率が 60.7%であったため、函館市の実績に到達することを目指す。

## (2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●江差町観光ポータルサイトの年間 PV 数 (ページビュー)	目標	322,078 (-)	351,065 (-)	387,686 (-)	387,686 ( )	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	387,340 (817)	551,202 (1,392)	560,361 (3,177)			
●観光関連事業所の域内調達率 (%)	目標	66.13 (-)	68.00 (-)	70.00 (-)	70.00 (-)	検討中 ( )	検討中 ( )
	実績	- ( )	- ( )	- ( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

## 【検討の経緯】

DMO が受託運営する江差町観光ポータルサイトから収集するアクセス情報、江差町観光まちづくり協議会が実施する町内事業者向け経済波及効果アンケート、江差町が実施する入込客数調査を元に、DMO 並びに観光地域づくり連携事業者と協議して目標数値を設定した。

## 【設定にあたっての考え方】

## ●江差町観光ポータルサイトの年間 PV 数

同サイトは、江差町の観光スポットや飲食店、イベント、キャンペーン等の情報が網羅されている唯一のサイトであるため、江差町の観光への関心度合を計るのに最適である。2019 年度春に開設したがコロナ禍で一旦落ち込んだが、今後の観光への関心の回復を見込み、R3 年度から R5 年度にかけて R2 年度の 130%を目標として設定する。

## ●観光関連事業所の域内調達率

江差町観光まちづくり協議会は、北海道教育大学函館校の協力を得て 5 年に 1 回、江差町内観光関連事業者向けにアンケート調査を行ない、観光による経済波及効果を算出する。令和 3 年度に実施した令和元年度対象の調査(対象 100 事業所・サンプル数 39)では、域内調達率 66.13%、1～3 次経済波及効果 13.83 億円となった。今後の観光に対する各種取組により、地場産品の消費が増える等の効果が想定されることから、観光による経済波及効果の拡大に直結する域内調達率の向上を目指すこととした。仮に 100 事業所の域内調達率が 5%向上する場合、1～3 次の経済波及効果は 0.43 億円増の推計 14.26 億円となる。その場合の令和 5 年度の目標値は 71.13%となるが、コロナ禍の長期化により状況が不透明なことから、まずは分かりやすく 70%を目標として設定する。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に (1) 収入、(2) 支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

## (1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳(具体的に記入すること)
2021(R3) 年度	79,858,000(円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 35,295,000(円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 2,310,000 <b>【民間団体からの助成事業収入】</b> 18,850,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 21,788,000 〔内訳〕 物販事業 20,327,000 マリリンピング事業 733,000 旅行事業 717,000 <b>【その他雑収入】</b> 1,607,000
2022(R4) 年度	69,826,000(円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 33,285,000(円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 1,784,000 <b>【民間団体からの助成事業収入】</b> 14,727,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 18,827,000 〔内訳〕 物販事業 16,335,000 マリリンピング事業 2,230,000 その他 262,000 <b>【その他雑収入】</b> 1,203,000

2023 (R 5) 年度	75,044,000 (円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 30,280,000 (円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 2,975,000 <b>【民間団体からの助成事業収入】</b> 23,980,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 17,436,000 〔内訳〕 物販事業 15,045,000 マリリンピング事業 1,877,000 その他 514,000 <b>【その他雑収入】</b> 373,000
2024 (R 6) 年度 ※予算	81,029,000 (円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 43,317,000 (円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 4,010,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 32,622,000 〔内訳〕 物販事業 26,422,000 マリリンピング事業 6,200,000 <b>【その他雑収入】</b> 80,000 (円)
2025 (R 7) 年度	78,000,000 (円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 43,317,000 (円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 2,010,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 32,622,000 〔内訳〕 物販事業 26,422,000 マリリンピング事業 6,200,000 <b>【その他雑収入】</b> 51,000 (円)
2026 (R 8) 年度	78,000,000 (円)	<b>【市町村からの運営補助金】</b> 43,317,000 (円) <b>【市町村からの受託事業収入】</b> 2,010,000 <b>【独自の収益事業収入】</b> 32,622,000 〔内訳〕 物販事業 26,422,000 マリリンピング事業 6,200,000 <b>【その他雑収入】</b> 51,000 (円)

## (2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2020 (R 2) 年度	58,004,331 (円)	<b>【一般管理費】</b> 30,815,612 (円) <b>【販売事業費】</b> 22,836,719 <b>【情報発信・プロモーション】</b> 1,683,000 <b>【コンテンツ開発】</b> 450,000 <b>【観光イベント開催】</b> 2,219,000
2021 (R 3) 年度	74,726,000 (円)	<b>【一般管理費】</b> 16,130,000 (円) <b>【事業費】</b> 58,596,000 〔内訳〕 観光資源の磨き上げ 8,915,000 案内環境の整備 448,000 案内所の整備 5,757,000 マーケティング 1,828,000 情報発信 6,739,000 その他 34,909,000
2022 (R 4) 年度	71,164,000 (円)	<b>【売上原価】</b> 11,047,000 (円) <b>【販管費】</b> 59,990,000 <b>【その他】</b> 127,000 ※R4 年度より決算書記載の分類に変更
2023 (R 5)	73,549,000 (円)	<b>【売上原価】</b> 10,257,000 (円)



年度		【販管費】	55,099,000
		【その他】	2,512,000
2024（Ｒ６） 年度	81,029,000（円）	【売上原価】	11,000,000（円）
		【販管費】	70,029,000
2025（Ｒ７） 年度	78,000,000（円）	【売上原価】	10,000,000（円）
		【販管費】	68,000,000
2026（Ｒ８） 年度	78,000,000（円）	【売上原価】	10,000,000（円）
		【販管費】	68,000,000

### （３）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

#### 【物販事業】

江差町のアンテナショップである「ぷらっと江差」の運営を通じて、地場産品の店舗販売およびネット通販を促進するとともに、新たな特産品を自主開発および地元業者による開発支援を行う。

#### 【マリニング事業】

かもめ島におけるアウトドア泊・海洋体験メニュー・地場産食事を組み合わせたプランを魅力的なものへ磨き上げるとともに、全国へ情報発信することで、マリニングという新たなコンセプトの定着を目指す。

#### 【旅行事業】

江差町や近隣地域の魅力を組み合わせた着地型旅行商品の造成・販売を行うことにより、地域外からの集客を促進する。

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

#### 【江差町 追分観光課】

令和４年３月に地域ＤＭＯに登録となった一般社団法人江差観光みらい機構は、江差町内において「稼ぐ観光」を目指すため、マネジメンの中核を担う組織として活動をいただいております。

この間、町の第６次総合計画や第２期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略、江差町観光戦略と整合したアクションプランを策定し、観光による大きな経済波及効果を生み出すため各種事業展開に取り組んでおります。

特に、江差町のシンボル「かもめ島」で令和３年度より日本財団の助成を受け実施している江差マリニング事業については、かもめ島におけるアウトドア泊・海洋体験メニュー・地場産食事を組み合わせたプランを魅力的なものへ磨き上げるとともに、全国へ情報発信することで、新たなコンセプトの観光化定着を図るなど先駆的な活動に取り組んでおります。

今後においても、アフターコロナにより観光需要が回復傾向にある中、関係機関と連携し「稼ぐ観光」に向けたマネジメントの中核組織として今まで以上に活動いただくよう町としても連携して取り組んでまいりたいと考えております。

#### 【北海道檜山振興局 商工労働観光課】（※江差町観光まちづくり協議会オブザーバーとして）

江差町は、檜山地域における経済の中心であり、北海道の貴重な文化と歴史を有する観光地域です。一般社団法人北海道江差観光みらい機構（以下「機構」という。）は、地域のシンボリックな場所であるかもめ島で「マリニング」等を推進する事業を実施し、新たなターゲット層である親子連れの開拓に着手しているほか、地域の自然・文化を活かした体験メニューなど新たなコンテンツの開発も精力的に行い、注目される組織へと成長しております。

道としても、機構が地域のマネジメントを担い、内外のステークホルダーとの連携を強化することで、地域の観光を通過型から「稼ぐ観光」へと変革・推進することを期待しており、機構は地域の観光に欠かすことの出来ない組織と考えています。

以上のことから、機構の観光地域づくり法人形成・確立計画に賛同します。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複なし

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	澤田 博生
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	043-0041
所在地	北海道檜山郡江差町字姥神町 1-10
電話番号（直通）	0139-56-1144
FAX番号	0139-52-5505
E-mail	hiroki.sawada@esashi.town

## 11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	北海道 江差町
担当者氏名	川瀬 太輝
担当部署名（役職）	追分観光課（観光係長）
郵便番号	043-8560
所在地	北海道檜山郡江差町字中歌町 193-1
電話番号（直通）	0139-52-6716
FAX番号	0139-52-5666
E-mail	Taiki.kawase@town.hiyama-esashi.lg.jp

## 基礎情報

## 【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

北海道檜山郡江差町

【設立時期】平成30年10月17日(平成31年4月1日より事業開始)

## 【設立経緯】

上記区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】照井 誉之介

【マーケティング責任者(CMO)】澤田 博生

【財務責任者(CFO)】澤田 博生

【職員数】9人(常勤9人(正職員9人))

## 【主な収入】

収益事業 17,436千円, 助成事業 23,980千円(R5年度決算)

## 【総支出】

販管費 59,099千円, 売上原価 10,257千円(R5年度決算)

## 【連携する主な事業者】

北海道檜山振興局, 江差町, 江差観光コンベンション協会, 江差追分会, 江差商工会, ひやま漁協江差支所, 新函館農協江差支店, ハートランドフェリー, 江差観光ガイド協会, 開陽丸青少年センター, 北海道教育大学函館校 等

## KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月19日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (円/人)	目標	6,724 (-)	7,851 (-)	8,000 (-)	8,000 (-)	検討中 (-)	検討中 (-)
	実績	5,098 (-)	3,603 (-)	4,548 (-)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	24.0 (0.01)	24.7 (0.05)	25.4 (0.10)	26 (0.1)	検討中 (検討中)	検討中 (検討中)
	実績	14.9 (0.096)	19.9 (0.056)	19.2 (0.16)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	74.5 (-)	76.5 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)	検討中 (-)	検討中 (-)
	実績	77.1 (-)	78.0 (-)	77.9 (-)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	48.0 (-)	54.0 (-)	60.8 (-)	60.8 (-)	検討中 (-)	検討中 (-)
	実績	47.7 (-)	36.6 (-)	41.7 (-)	—	—	—

## 戦略

## 【主なターゲット】

かもめ島を中心とする江差の自然環境に興味を持つ親子連れ

## 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

かもめ島マリニピングや釣り体験等の屋外の体験コンテンツを親子連れ層に提供することにより、滞在時間の長時間化と地域での食材調達等の経済効果拡大を目指す。

## 【観光地域づくりのコンセプト】

ニシンが形づくったカモメの港町～北海道江差町～

## 具体的な取組

## 【観光資源の磨き上げ】

・「かもめ島マリニピング～海と日本PROJECT～」事業を企画,実施。

## 【受入環境整備】

- ・観光案内所運営  
「江差町観光情報総合案内所」  
R1年度 JNTO外国人観光案内所  
カテゴリー1登録
- ・旅行商品造成販売事業  
R1年度 第3種旅行業登録  
R3年度 奥尻町との交流ツアー実施

## 【情報発信・プロモーション】

- ・「江差町観光情報ポータルサイト」運営。  
お客様相談フォーム設置  
英語版ページ作成  
緊急情報連携表示システム構築  
観光イベント情報連携表示システム構築  
飲食店テイクアウト情報発信  
サイト構築
- ・姥神大神宮渡御祭の山車ロケーションマップ開発運営

